

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
第1展示室		企画展 4/29(水・祝)～6/21(日) 水と生命 ～川と生き物のつながり～			特別展 7/18(土)～9/13(日) 生誕100年/ ロボットと芸術 ～越境するヒューマノイド			企画展 10/10(土)～12/13(日) 紙とアートI: 吉田傑 ダンボールといきもの			企画展 1/9(土)～3/7(日) 総天然色! 考古資料のあざやかな世界	
第2展示室								企画展 10/10(土)～12/13(日) 八王子千人同心と蝦夷地				
第3展示室		収蔵品展 4/29(水・祝)～6/21(日) イクパスイー祈り捧げるもの—									収蔵品展 1/9(土)～3/7(日) 色と絵	
中庭展示 スペース		中庭展示 4/29(水・祝)～9/13(日) Vol.14 艾沢詳子						中庭展示 10/10(土)～12/13(日) Vol.15 磯崎道佳				

※展覧会名、内容及びスケジュールに関しては、予告なく変更をすることがございます。ご了承ください。

特別展

生誕100年／ロボットと芸術～越境するヒューマノイド
7月18日(土)～9月13日(日)

「ロボット」という言葉の誕生100年を記念して開催する本展では、ロボットが日常生活に浸透しつつある現代の視座から、科学と芸術という垣根を超えた領域横断的な芸術作品および資料を紹介し、人間の探求心や夢、そして欲望など、時代の精神が色濃く投影されたヒト型のロボット「ヒューマノイド」について再考します。

収蔵品展

イクパスイー祈り捧げるもの—
4月29日(水・祝)～6月21日(日)

イクパスイはアイヌの儀礼の際にアイヌの言葉を神(カムイ)へ取り次ぐ重要な役割をもった道具です。それらには刀剣や動物を模したもの、幾何学文様などアイヌの彫刻技術の精巧さを見ることができます。本展では当館が所蔵する300点を超えるイクパスイから選りすぐりのものを紹介します。

色と絵
1月9日(土)～3月7日(日)

当館の収蔵作家のなかから、色使いの特徴的な画家たちの絵画作品に焦点を当て色ごとに分けて紹介します。

企画展

水と生命 ～川と生き物のつながり～
4月29日(水・祝)～6月21日(日)

「おいしい水の街」・苫小牧。水は私たちを含む多くの生き物を育てています。本展では「川」にスポットを当て、川の知られざる姿やそこに息づく生き物のつながりを生物標本や写真、絵画等で紹介します。

八王子千人同心と蝦夷地
10月10日(土)～12月13日(日)

寛政12(1800)年に江戸幕府の命を受けて蝦夷地の警衛、開拓のために勇払と白糠に向かい、移住を試みた八王子千人同心をテーマにした展示。江戸後期から幕末にかけての八王子千人同心の蝦夷地での事績を、地域と時代を横断して紹介します。

紙とアートI: 吉田傑 ダンボールといきもの
10月10日(土)～12月13日(日)

ダンボールを素材に等身大の動物を制作する造形作家・吉田傑(1987～)は、神田日勝記念美術館主催の企画展(2019)への出品を果たすなど、活動の場を広げています。「紙のまち苫小牧」ならではの企画となる本展では、当館所蔵のはく製とのコラボレーションなど、趣向を凝らした展示を行います。

総天然色! 考古資料のあざやかな世界
1月9日(土)～3月7日(日)

遺跡から出土する資料の中には色鮮やかなものが数多くみられます。それらは道具の機能とはまた異なるモノづくりの考え方の一端を表しています。本展ではこれまであまり着目されていない考古資料の色に焦点をあて、その鮮やかな色彩を考古学、自然史のみならず美術的な側面からも観る機会とします。

中庭展示

第一期 Vol.14 艾沢詳子
4月29日(水・祝)～9月13日(日)

紙とロウを主要な素材とする小型のオブジェを制作のうえ、それらを無数に配置する作風をみせる艾沢詳子(1949～)。本展では、風雨にさらされた中庭空間において変容をとげる作品とあわせて、光の演出効果を交えたインスタレーションも回廊にて紹介します。

第二期 Vol.15 磯崎道佳
10月10日(土)～12月13日(日)

多彩な表現形態や素材により、誰もが持つ好奇心を引き出し、新しい視点を発見する場を創造する磯崎道佳(1968～)。本展では、モップや羽ぼうきなど掃除用品を再構成した作品シリーズから、竹ぼうきを素材に巨大な人形のホウキを設置します。



左: 艾沢詳子《無幸の民'07—冬昏》2007年 作家蔵 (撮影 並木博夫)

右: 磯崎道佳《モップの生活》2004年 作家蔵

※いずれも参考作品



生誕100年／ロボットと芸術～越境するヒューマノイド
相澤次郎(ガイロボット「一郎」君) 1959年 公益財団法人 国際医療福祉教育財団蔵



左：水と生命 ～川と生き物のつながり～
美々川源流部の湧水

右：八王子千人同心と蝦夷地
市指定史跡 蝦夷地開拓移住隊士の墓



左：紙とアートI:吉田傑 ダンボールのいきもの
吉田傑「アンモナイト」2019年 作家蔵

右：総天然色!考古資料のあざやかな世界
柏原5遺跡出土漆塗り櫛 縄文時代晩期 当館蔵



左：イクバスイー祈り捧げるものー
イクバスイーに彫られたヒグマ 当館蔵

右：色と絵
池本良三《楽隊がゆく》1992年 当館蔵

〒053-0011 苫小牧市末広町3丁目9番7号(愛称:あみゅー)
Tel 0144-35-2550 Fax 0144-34-0408
www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan/

www.facebook.com/tomakomai.museum

twitter.com/tomakomai_amyu

[開館時間]

9:30-17:00(入館は16:30まで)

※閉館時間については、イベント実施により変更する場合があります。

[夜間開館]

7/25、10/31(20:00まで開館/入館は19:30まで)

※日程の追加・変更の場合があります。詳細は直接お問い合わせいただくか、公式HPまたはフェイスブック等でご確認ください。

[休館日]

毎週月曜日(祝日の場合は次の平日)

年末年始(12/29～1/3)

[観覧料]

一般 300円(240円)

高校生・大学生 200円(140円)

中学生以下 無料

※()内は10名以上の団体料金

※観覧料の免除規定がありますのでご相談ください。

※年間観覧券(一般900円、高大生600円)もあります。

※特別展の観覧料はその都度定めます。

[無料観覧日]

11/3

[アクセス]

道南バス・中央バス

「出光カルチャーパーク」下車徒歩約5分

JR苫小牧駅南口から車で約5分

苫小牧中央IC(令和2年度完成予定)から車で10分

※出光カルチャーパーク内の南側駐車場をご利用ください。



苫小牧市美術博物館 展覧会スケジュール

2020.4

▶▶▶▶▶ 2021.3

TOMAKOMAI
CITY
MUSEUM

Exhibition Schedule